

# 令和7年度 浜松市立与進小学校 学校評価報告書

## 1 自己評価

### 自己評価結果及び考察

別紙（学校評価アンケート結果）のとおり

## 2 学校関係者評価

2月10日（火）に開催した学校関係者評価委員会（学校運営協議会）において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・「先生も友達も自分を認めてくれて励ましてくれる」という項目の数値が高いのに、「自分の思いや考えを相手や仲間にきちんと伝えることができた」という項目の数値が低い。項目の書き方（きちんと）を改善すれば、数値が上がる可能性があるため、検討したい。
- ・全国学力調査で平均以下が続いている。今回の結果を分析し、具体的に検討した物を保護者には各学年だよりで伝えている。また基礎・基本の「話を聞く」という事を徹底させることで、子供たちの学習の基本がずいぶん身についてきた。今後も教師の資質能力を上げるために研修にも力を入れていきたい。
- ・宿題について、各クラス毎日出されているが、実際に家で行っているかは家庭によって差がある。来年度、学校説明会等で、家庭学習の意義について説明していきたい。また、家庭でタブレットを活用することは有用な事だと認識しているが、放課後児童会にはWi-Fiが繋がっていないという問題点もある。前向きに検討したい。
- ・いじめについては、今後も子供の思いを大切に寄り添いながら聞き取りを行ったり、複数の教員が共感しながら、きめ細やかに対応したりしていきたい。暴力によるいじめはないようだし、不登校との関連もあるとは言えないようだが地域やコミスク活動の中で下校等の見守りなどで手助けができたらいと思う。

## 3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・『聴く・話す』の学習習慣の定着を継続的に行っていく。
- ・授業では主体的に学べる指導方法の工夫やタブレット活用を進め、個々の習熟に応じた支援を行う。また、宿題については、家庭学習の目的を明確にしつつ、各学年の発達段階や個々の習熟度、状況に合わせた柔軟な課題提示や支援のあり方を検討していく。
- ・子供たちの自信を確かな主体性へと引き上げていくために、学校生活の様々な場面で、すべての教職員が児童一人一人を大切にし、児童が自信をもって活動できる機会（役割や出番）を増やし、温かな声掛けや支援をしていく。
- ・主体性を地域でも生かせるように、長上カルタなどの地域の財産の学習を活用したり、CS活動で学んだことを発表する場を設けたりする。
- ・子育ての面で不安を抱えている保護者支援として、「家庭教育講座」を開催する。
- ・学校活動について…保護者が参観する学校活動（運動会、参観会、音楽会、持久走記録会）について、開催時期、運営方法、内容、連絡方法等、御意見をいただいた。児童の健康安全や保護者の参観しやすさを考えながら、来年度の改善に努めていく。来年度の年間予定については、3月初旬にさくら連絡網にて配信していく。
- ・教職員の対応について…丁寧な個別指導や子供の充実した学校生活への感謝の声を多くいただき、職員にとって大きな励みとなった。一方、指導の統一性や児童が安心して過ごせる環境への御指摘をいただいた。校内での指導方針を共通理解し、一貫性のある対応に努めていく。そして、『与進ファミリー』として、どの児童の心にも寄り添い、温かく、かつ毅然とした指導ができる体制を整え、安心して登校できる環境づくりを最優先に進めていく。
- ・いじめ防止について…令和7年4月「浜松市いじめの防止等のための基本的な方針」が改定された。それに伴い、「与進小いじめ防止基本方針」も改定し、1年間方針に沿っ

ていじめ防止、いじめ対応をしてきた。改定後も方針が教育課程を実施していく上で、無理なく機能しているのかを精査しながら教育活動を行い、教職員で振り返りと確認をしたが、与進小の実態に即したものであると捉え、大幅な加除修正をすることなく、来年度も現行の方針を継続施行していく予定である。この方針は、学校だけでなく、保護者・地域の方と共に同一步調を進めていくために、与進小ホームページにも掲載している。今後も学校運営協議会には、浜松市や与進小のいじめ対策の方針を理解いただき、与進小のいじめ問題の状況を共有することで、社会総がかりで子供を見守り、健やかな成長を促すための連携・協働体制を整えていく。